

会長 イェルク・ホフマン

Jörg Hofmann



イェルク・ホフマンは、2016年10月5日にブラジル・リオデジャネイロの第2回インダストリアル世界大会でインダストリアル・グローバルユニオン会長に選出された。ホフマンはドイツ最大の全国組合IGメタルの会長である。

1955年にドイツのオッペルスボームに生まれ、学業修了後まず農業の訓練を受けたのち、シュトゥットガルト・ホーヘンハイム大学、パリ大学、ブレーメン大学で学び、経済学の学位を取得した。シュトゥットガルト・ホーヘンハイム大学工業経営研究所の研究者を経て、1982年から1987年までIGメタルで新技術の専門家として働いた。

1987年から1999年まで、シュトゥットガルトのIGメタル地方支部で労働組合書記を務める。この時期には、ドイツ再統一後の1990年から1991年にかけて、旧東ドイツのドレスデンでIGメタル地方支部の設立も担当した。バーデン・ビュルテンベルクでIGメタル地域役員を務めたあと、2013年にIGメタル副会長に就任、

2015年にIGメタル会長に選出された。

ホフマンはフォルクスワーゲンAG、ロバート・ボッシュ GmbH 両社の監査委員会メンバーである。ドイツ連邦労働省の労働4.0対話プラットフォームの共同議長も兼任し、連邦経済エネルギー省と連邦教育研究省のインダストリー4.0プラットフォーム運営委員会にも加わっている。

母国語のドイツ語だけでなく、流暢なフランス語、ポルトガル語、英語も話す。

書記長 ヴァルター・サンチェス

Valter Sanches



ヴァルター・サンチェスは、2016年10月5日の第2回インダストリアル世界大会でインダストリアル・グローバルユニオン書記長に選出された。それ以前はブラジルの金属労働者の全国総連合 CNM/CUT で国際関係担当書記を務めていた。

地理学の学位を保有しているサンチェスは、1981年に金属労働者として働き始め、ブラジル・サンパウロの機械組立会社で機械工になった。1985年、サンベルナルド・ド・カンポのロールスロイス・ブラジルに入社、その後1988年にメルセデス・ベンツに移り、1989～90年に安全衛生委員に選出された。1992年にはメルセデス従業員代表委員会のメンバーにも選ばれ、1997年から2007年まで同委員会の調整委員を務めながら、組合の工場委員にも選出される。

サンチェスは、2000年から2007年まで(当時の)ダイムラークライスラー世界従業員代表委員会でブラジル代表を務め、サンベルナルド、カンピナスおよびジュイス・デ・フォラの工場労働者を代表した。2002年から2005年にかけて、ABC金属労組(CNM/CUT加盟組織)の執行委員も務めた。

2004年にCNM/CUTの組織化担当書記、その後CNM/CUT書記長に選ばれ、2009年12月、CNM/CUTの国際関係担当書記に選出される。

2010年から、ABC金属労組の広報担当部長ならびに労働・文化・通信財団の会長に就任。同財団はサンパウロ大都市圏で2つのテレビ局(Rede, TVT)と2つのラジオ局(Radio Brasil, Atual)を運営している。

サンチェスは2人の息子の父親であり、ポルトガル語、スペイン語、英語、ドイツ語を流暢に話す。

書記次長 アトレ・ホイエ Atle Høie

アトレ・ホイエは、2016年10月5日の第2回インダストリアル世界大会でインダストリアル・グローバルユニオン書記次長に選出された。それ以前はノルウェー合同産業労組の国際書記を務めていた。

1966年ノルウェー生まれのホイエは、工学と経済学・経営学の学位を取得している。1992年、農業協同組合 Felleskjøpet に物流コンサルタントとして就職。その後、ノルウェー労働総同盟 (LO) に加わり、環境問題を担当、1994年のEU加盟をめぐる国民投票に至る期間の労働組合行動を調整した。

1995年にノルウェー合同産業労組に参加、すべての国際組合活動を調整し、北欧・欧州・国際レベルの産業別組織15団体と接触を保ち、世界中の労働組合との個別の関係も維持した。ホイエはノルウェー語、スウェーデン語、デンマーク語、英語、ドイツ語を話す。



書記次長 ジェニー・ホルドクロフト Jenny Holdcroft

ジェニー・ホルドクロフトは、2016年10月5日の第2回インダストリアル世界大会で書記次長に選出された。それ以前はインダストリオールの政策担当部長を務め、不安定雇用、生活賃金および持続可能な産業政策に関するインダストリオールのグローバル・キャンペーンを主導してきた。バングラデシュにおける火災予防および建設物の安全に関わる協定の運営委員会メンバーであり、インダストリアルと世界的衣料ブランドとの覚書を取り決め、ブランドの購買業務に関連づけた産業別労働協約によって生活賃金を実現するためにACTプロセスを創出した。

2001年、権利平等担当部長として国際金属労連 (IMF) に参加、女性指導者たちと協力しながら、規約を改正して執行委員会で女性代表を確保すべく取り組み、この規約ののちにインダストリアルによって継承された。その後、電機・電子/航空宇宙産業を担当し、2012年のインダストリアル創設まで、このポストを務める。

ホルドクロフトはオーストラリアの労働組合運動出身で、職場委員・役員を皮切りにオルグ兼産業役員としても活動した。組合員の組織化・代表、労働協約の取り決め、訓練、提言の分野で幅広い経験がある。女性差別撤廃措置を担当する政府機関の政策委員も務めていた。



書記次長 ケマル・ウズカン Kemal Özkan

ケマル・ウズカンは、2016年10月5日の第2回世界大会でインダストリアル・グローバルユニオン書記次長に再選された。初めて書記次長に選出されたのは、2012年6月のインダストリアル結成大会においてである。

ウズカンは経済学・経営学の修士号を取得したエンジニアとして、トルコ進歩的労働組合総連合傘下の石油・化学・ゴム労組で16年間にわたって活動し、あらゆるレベルの職務を歴任、最終的なポストは会長補佐だった。

2007年初め、ブリュッセルの国際化学エネルギー鉱山一般労連 (ICEM) に化学・ゴム産業担当官として加わった。2011年6月、特定の産業関連職務に加えて、ICEMの産業・企業問題局長に任命される。

世界レベルおよび欧州レベルの労働組合連合団体で国際労働組合連帯行動に従事し、それぞれ1995年、1996年に開催されたICEMとEMCEFの結成大会にも参加した。

ウズカンは労働組合員の家庭に生まれ、父親は1980年にトルコで軍事クーデターが発生した際、組合活動が原因で4年間投獄された。

